

## ユーネットだより

令和7年度3月号



初石駅が橋上化されました！

### 流山市暮らしサポートセンター ユーネット

〒270-0121 千葉県流山市西初石3丁目101-21鈴木ビル1F  
 TEL 04-7197-5690 Mail : yu-net@lec.co.jp  
<https://public.lec-jp.com/seikatukonkyuu-nagareyama/>  
 受託運営：株式会社東京リーガルマインド



くらしに困っている相談者によりそいながら、自立に向けてお手伝いをするのが、  
**流山市暮らしサポートセンター ユーネット** です。

#### 【ごあいさつ】

東京リーガルマインド（株）が、流山市の生活困窮者自立支援事業を受託してから2年が経ちました。この間に対応した相談内容を踏まえ、これまで「情報だより」では、ひきこもり、メンタル不調などの問題、高齢者の住居確保、障害者就労などについて、現状と課題を取り上げてきました。今号の第一特集は、困難な状況に至った就労者のためのセーフティネット制度についてです。今回は「雇用保険」と「傷病手当金」で、離職や休職時の生活維持のために知っておきたい制度です。

第二特集では趣向を変え、生活困窮の問題に関連するテーマを描いた映画や小説を紹介します。もちろんエンタメですから極端な事象として描かれていますが、ときに、実用書では得られないような仕事のヒントにもなり、様々な作品と出会う楽しみの一つです。

## 1. 就労者のセーフティネットについて

### 【雇用保険】

- ① 求職者給付（失業手当）受給資格 ※自己都合退職の場合  
 離職の日以前2年間に12か月以上の被保険者期間があること（通算可）。  
 （高齢者・会社都合退職の場合は1年間に6か月以上）
- ② 1日あたりの給付額 基本手当日額＝（離職前6か月間の賃金合計÷180）×給付率  
 ※給付率は賃金額及び年齢により、45%～80%
- ③ 支給開始期間  
 原則離職票提出・求職申し込み7日経過後から1か月後（令和7年4月改正）。
- ④ 給付日数（定年・自己都合退職）

加入者	年齢	被保険者期間	1年未満	5年未満	10年未満	20年未満	20年以上
	65歳未満	給付日数	90日			120日	150日
	65歳以上		30日	50日			
	障害者		150日	45歳未満 300日		65歳未満 360日	

※ 倒産などによる会社都合退職の場合は、年齢・被保険者期間により90日～330日

# 流山市生活困窮者自立支援事業

(つづき)

## 【傷病手当金（社会保険加入者）】

- ① 支給要件 仕事（通勤含む）とは関係ない**病気やケガのため4日以上（連続3日間含）休業**し、その間の給与の支払がないこと。
- ② 支給期間

支給要件完成	欠勤	出勤	欠勤
	支給		支給
通算で1年6か月間まで支給			

- ③ 支給額

$$\boxed{\text{直近1年間の標準報酬月額額の30分の1}} \times \boxed{\text{3分の2}} \times \boxed{\text{支給日数}}$$

- ④ 退職後

同一傷病により退職し、社会保険の資格を喪失した場合も喪失日前に1年間以上の継続被保険者期間があれば支給されます。

失業給付・障害厚生年金（同一傷病）・老齢基礎年金との併給は不可。

## 2. 生活困窮の問題をテーマにした作品の紹介

### 【格差の両岸に架かる脆い橋：「ロスト・ケア」】

映画：監督 前田哲 主演 松山ケンイチ、長澤まさみ（公開2023年）

ある訪問介護事業所の所長の不審死事件を調べていた女性検事は、この事業所が介護した高齢者が連続して短期間に亡くなっていることに気づきます。

やがて、この職場で献身的に仕事をこなしてきた男性介護士が担当した高齢者と、その家族との複雑な関係、ヤングケアラーだった介護士自身の壮絶な過去などが、事件の背景にあることが明らかになります。

「この社会には穴が空いている。一度落ちてしまえば、容易には抜け出せない。絶対、穴に落ちない安全地帯にいる人には、穴の底での絶望は分からない。」という介護士の言葉が印象に残ります。

### 【多重債務に翻弄された女性の謎多き人生：「火車」】

小説：作者 宮部みゆき（出版1992年）

親戚の男性から、失踪した婚約中の彼女を捜してほしいと相談された休職中の刑事。

男性は、彼女が自己破産していることを知り、そのことを問い詰めた翌日に彼女が忽然と姿を消したことを明かします。

私的な調査を開始した刑事でしたが、彼女の職場や自己破産手続を担当した弁護士を訪ねるうち、婚約者と破産者が異なる人物であり、戸籍の乗っ取りがされたことを疑います。

借金を重ねるうちに崩壊してしまった人生の悲劇が、衝撃的なストーリーで展開していく、歴代の国内ミステリー小説を代表する作品です。

### 【なぜ、ひきこもるのか？現実と重なるリアルがここに：「鼓動」】

小説：作者 葉真中顕（出版2024年）

公園でホームレスの高齢女性の焼死体が発見され、逮捕された中年の男は、18年間無職で自宅から出ない生活を送っていたこと、直前に父親も殺害したことを自供しました。

1974年生まれの彼は就活時期が就職氷河期にぶつかり、やむなくブラック企業に就職。やがて精神を病み、ひきこもる生活となりましたが、長年、他人と関わりを持たない中、なぜ二人もの人間を手にかけてのか。

一方、被害者のホームレス女性が所持していた健康保険証は精巧な偽造品で、背後に、借金のかたに年金受給資格を奪い取る、貧困ビジネスの存在が浮上します。

この作品には、ひきこもりや貧困に陥る過程について、専門書や現実の当事者の話以上に「理解」できる怖さがあります。